

医学・医療に関連する商業紙報道 見出し・概要 (平成22年7月1日～7月31日)

官公庁の医療政策		新聞	掲載面	掲載日
第4期科学技術基本計画	環境・エネルギーと医療・介護を中心に社会的課題を解決するための科学技術の活用へ。	読売	13面	7.28
若年自殺「心の対策を」	未遂患者の半数超「境界性パーソナリティ障害」 都立松沢病院 150人調査	朝日	34面	7.27
新医療制度 高齢者大半、国保へ	公費負担増は不可避 負担割合は示されず	朝日	3面	7.24
1000万人患者情報 蓄積へ	厚労省 薬の副作用分析 迅速化目指す	朝日	7面	7.23
がん治療後も仕事を	働き盛りの患者増加 厚労省ガイド作成へ	朝日	夕8面	7.24
社保病院存続へ調整	民・自 運営法人(年金・健康保険福祉施設整理機構)の期限延長 (2年程度延長の見通し)	朝日	7面	7.22
医療通訳・コーディネーター養成	外国人患者 受け入れ促進狙う	朝日	6面	7.21
低体重児 成人後に影響は	4000人調査へ 1500グラム未満で出生 対象	朝日	1面	7.21
遺伝資源利用で監視制度も 名古屋議定書案が一步前進	生物多様性条約の作業部会は、各国が遺伝資源の適正な利用を監視する制度を整備するとした原案を採択したが、対象となる遺伝資源の範囲などで先進国と途上国の隔たりは大きい。	千日	3面	7.18
精神疾患調査 義務化見送り	職場の自殺・うつ対策 厚労省報告書案	朝日	6面	7.15
治療・診断もできる新たな看護職	(行政刷新会議では診療看護師(NP)、厚労省も新職種の特定制護師を視野に入れる。)	朝日	37面	7.13
看護師試験難しいと中途帰国	EPA(経済連携協定)で来日した看護師等の候補者の帰国が2008年以降で33人に上った。	読売	1面	7.9
科学技術予算の重点8施策決定	環境、医療・介護に限定	朝日	夕11面	7.8
関節の痛み 診断基準	患者推計2500万人、早期発見へ 3段階判定ソフト開発	朝日	夕1面	7.8
介護保険 末期がんにも	周知不足・認定スピード課題 「家に帰りたい」実現 ばらつく自治体対応	朝日	29面	7.7
最先端医療技術の実用化 迅速に	厚労省は開発側の研究者等と、審査側の医薬品医療機器総合機構との事前相談事業を行う。	読売	夕4面	7.5
後期高齢者の年間医療費 1人当たり85万円	厚労省の医療給付実態調査。最低は健保組合の12万円で7倍の差。後期医療の平均年齢は81.8歳で健保組合の33.8歳と大きな開き。厚労省が医療保険制度全体を調べたのは今回が初。	山日	3面	7.3
学校の自殺調査で指針	文科省方針 積極的行動促す 不都合な事実も明らかに 解明望む遺族に応える	信毎	1面	7.2

大学の運営

DNA分析で特許 千葉県と千葉大 精度高めコスト削減	「DNAマイクロアレイ」と呼ばれる分析技術の精度を高める発明。医療面だけでなく、食品検査など利用分野の拡大が見込まれる。	千日	1面	7.29
我が校、世界で何位？	(世界の大学ランキングへ)距離置く 載る 戦略二分 とらえ方はそれぞれ 「日本発」の待望論も	朝日	33面	7.26
東大、論文盗用問題で	トルコ人元助教の指導教授を処分へ	朝日	夕10面	7.24
「大学はおいしい！フェア」	高島屋新宿店で山形大工学部の米粉シュークリーム、秋田県立大は純米吟醸酒「究」	読売	31面	7.22

若手研究者 伸ばせるか テニユアトラック制度	公募で試用5年 実績あれば大学が終身雇用 研究室 教授から独立 国は人事透明化も狙う 大学、「伝統が崩壊」批判も	朝日	27面	7.16
精神疾患患者の専門看護師養成 山梨県立大大学院に教育課程設置へ	看護学研究科に「精神看護学」を設置。既設の「在宅看護学」「女性看護学」「がん看護学」は日本 看護系大学協議会の認定を目指し、専門看護師の資格を得られる環境整備をする。	山日	2面	7.16
世界の大学ランキング 日本は低迷	韓国、中国、インドなどと比べ日本の学問はこころの鎖国で内向きになり衰退傾向。	産経	7面	7.9
私立17歯学部中 11学部定員割れ	定員充足率は78.7%、2学部は充足率が50%を割った。日本私立歯科大学協会のまとめ。	千日	18面	7.9
運営交付金 削減対象から外して	文科省は「国立大学法人運営交付金」と「私立大学等経常経費補助」の現状維持を求める。	産経	2面	7.8

病院の経営

診療所の13%希望患者ゼロ	医療費明細書 (診療所(開業医)の発行義務化は8月から)	朝日	7面	7.8
---------------	------------------------------	----	----	-----

再生医療

がん化防ぎ作製効率のよいiPS細胞	京都大の中川講師、山中教授らが開発。米科学アカデミー紀要電子版に掲載。	読売	夕1面	7.27
安全なiPS細胞移植で回復	脊髄損傷マウスの運動機能 岡野・慶大教授ら成功 (米科学アカデミー紀要 電子版発表)	毎日	24面	7.7
心臓から幹細胞採取 心筋再生で梗塞改善(京都府立医大)	重症心不全の患者で、国内初の治療に成功。担当教授は「症例を増やして安全性を確立し、心 臓移植の代替医療や人工心臓の補助医療に役立てたい」と話す。	山日	25面	7.3
血液1滴からiPS細胞	採血から25日間で作製でき「世界最速」。慶大教授ら米科学誌セル・ステムセル電子版に発表。	山日	3面	7.2
「クローン、短命ではない」実証	国内初、世界で2番目に誕生した体細胞クローン豚の「ゼナ」が10年の一生を終えた。移植用臓 器としての研究だけでなく、再生医療への応用やがんなどの治療法開発が期待される。	山日	10面	7.2
他人の細胞移植容認	厚労省 iPS 指針案まとめる	朝日	37面	7.1

臓器移植

終末医療の充実前提	臓器移植大国 スペインからの報告	朝日	夕12面	7.29
(臓器)提供、人口当たり最多	臓器移植大国 スペインからの報告	朝日	夕8面	7.26
「脳死は一律に死」は誤解	改正臓器移植法	朝日	17面	7.21
改正移植法施行 都内で説明会	日本臓器移植ネットワークが東日本の提供病院対象に開催。救急医、脳神経外科医ら参加。	千日	18面	7.18
脳死移植の32例の検証 宙に	「改正臓器移植法施行に伴う準備で忙しいため」と昨年3月より1年以上も開かれていない。	千日	1面	7.18
小児の臓器提供は増えるのか	救急部門は人員や設備が脆弱で小児救急はさらに深刻。小児集中治療室も足りない。	読売	3面	7.17
家族の意思 組織で確認 提供増 医師の負担懸念	聖マリアンナ医大病院は「移植医療支援室」を設置、コーディネーターと医師ら5人が所属。 家族が提供に前向きならば連絡調整はコーディネーターが担当する。	山日	12面	7.16
臓器移植のルール、どう変わる？	(本人の意思不明なら家族の承諾で提供可能に)	朝日	2面	7.16
子の脳死移植 見切り発車	改正法 あす施行 「即対応可」の病院15% 「できません、では済まされない」「課題多すぎる」	朝日	1面	7.16

子の脳死 現場に不安	改正臓器移植法 朝日新聞本社アンケート 提供「増える」57% 「変わらない」31% 判定・虐待の把握「難しい」 家族への説明 試行錯誤	朝日	3面	7.16
改正臓器移植法 何が変わるのか	背景に国際移植学会が自国外での移植を自粛するイスタンブール宣言を採択、WHOも自国内完結の新指針。家族承認だけでOKなどの提供条件や意思表示カードは提供しない臓器に×。	読売	13面	7.15
「臓器提供病院アンケート」 小児対応、施行時は13%	改正臓器移植法は昨年7月に成立したが、医療現場の体制整備は遅れている。提供病院の負担を軽減し、脳死判定チームを設置する等の支援が急務。日本臓器移植ネットワークの調査。	千日	2面	7.8
脳死肝移植の病院追加	(脳死下の肝臓移植の実施施設として、新たに8病院、合計21病院となった。)	朝日	37面	7.6
肺がん、全摘して冷却 患部除き再び体内へ (岡山大)	肺の「自家移植」成功は国内で初、冷却保存は世界初。肺を戻すことで、術後の呼吸機能の低下を抑えられ、生活の質(QOL)を保つことができる。	山日	25面	7.3
臓器提供意思表示に新カード	日本臓器移植ネットワーク作製。コンビニや自治体の窓口、保健所等に置く。350万枚配布。	山日	3面	7.2

予防医学

胃がん 除菌で予防	保険広がり、専門外来も 胃炎とセットで検診	朝日	29面	7.22
皮膚にはるだけ	インフルワクチン開発 米研究チーム (米医学誌ネイチャー・メディシン電子版で発表)	朝日	2面	7.20
看護師の半数、捨てた経験	新型インフル 大瓶ワクチン	朝日	夕12面	7.8
インフルワクチン5800万人分供給可能	厚労省検討会(今季のワクチンは季節性のワクチンに新型を組み込み1回の接種ですむ)	朝日	37面	7.13
新ワクチンで日本脳炎予防接種再開	初回接種の標準年齢3歳児を対象に接種を再開。新ワクチンの副作用報告に重症例はない。	読売	16面	7.2

感染症

インフル予防注射 誰でも10月から	在庫十分、優先順位なし	朝日	38面	7.29
黄色ブドウ球菌「攻撃」たんぱく質	院内感染対策にも期待 (英科学誌ネイチャーに発表)	朝日	27面	7.16
4人に1人、口覆わずせき	(ニュージーランド・オタゴ大で新型インフル流行時に調査)	朝日	27面	7.16
手洗い徹底、生肉避けて	157 夏を中心に年4000人前後感染 下痢や発熱、嘔吐などの症状があり、死亡例も 若年・高齢者は要注意 75度1分の加熱で死滅	毎日	13面	7.7
子宮頸がんの新たな予防手段	ワクチンの公費負担と集団接種を全国に 子宮頸がんは予防する時代	朝日	32面	7.1

救急医療

こんにやく入りゼリー 窒息事故	窒息事故の85%重症	朝日	37面	7.1
-----------------	------------	----	-----	-----

産科・小児科

複数の胎児「減数手術」873例実施	諏訪マタニティクリニック、28年間の合計。根津院長は「必要悪」と話す。	読売	12面	7.29
妊婦の腰負担 体重200kg並み	背もたれ傾げると半減 東工大チーム	朝日	37面	7.15
多い「未熟児」日本は先進国2位	07年9.7% 徐々に増加 生活習慣・高齢 影響か	朝日	夕15面	7.13
胎児のエコー 同意得る医師は半数	染色体の状態も推測可能 (日本周産期・新生児医学会倫理委員会)調査	朝日	1面	7.9

乳幼児に「イオン飲料」で虫歯偏った食育等で摂食障害	飲料に含まれる糖分が虫歯菌を増殖させ「酸蝕症」を引き起こす。正しい食の知識は必要だが、熱心な食育やマニュアルに頼る育児で、子どもが摂食障害に苦しむこともある。	読売	17面	7.2
胎児の治療 おなかの中で	費用負担がネック 保険適用の動きも (手術代)48万円何とか工面 欧米では(胎児を)患者扱い	朝日	34面	7.1

治療法・薬

くも膜下出血防ぐ新治療	動脈瘤、血管に筒入れ栓 手術できない部位にも 破裂率に応じて選択	朝日	31面	7.29
-------------	----------------------------------	----	-----	------

医療事故・訴訟

不祥事の背景に派閥争い	東京医大、第三者委報告書	朝日	37面	7.14
小児科医自殺 病院と遺族和解成立	最高裁 (和解条項で)「加重負担させぬ」確認	毎日	28面	7.9
母子・予防接種以外に経路	B型肝炎 輸血・父子感染 最高裁、感染傾向から推論	朝日	3面	7.8
B型肝炎訴訟 初の和解協議で国	母子手帳不要に転換 原告、「他の証拠」に反発	朝日	1面	7.7
人工透析中 管がはずれ出血死	治療開始3時間後の警報ブザーでは看護師が異常に気付かず、数分後再度の警報で発見。	読売	38面	7.1

危機管理

家畜伝染病・口蹄疫の教訓	EUは抗生物質依存の家畜飼育の危険性を重視、耐性菌を生み出さない有機農業を志向する。	読売	13面	7.28
「駅にサリン」成田空港で真剣訓練	APEC首脳会議 今秋に控え 生物・科学テロなど想定	朝日	35面	7.28
被災者情報を一元管理	中越沖地震で開発 システム導入を都検討 迅速に罹災証明発行 救済漏れを防ぐ効果	朝日	30面	7.23
全国公立小中学校 耐震化率	耐震化率は73.3%。震度6強で倒壊する危険性の高い建物は7498棟。耐震化予算も不安。	読売	32面	7.22
ギョーザ事件「合理的な捜査」	中国視察の警察庁幹部	朝日	38面	7.15
災害用ミネラル水発売	5年間の常温保存が可能。「富士山バナジウムウォーターブランド保存水」	山日	7面	7.9
新型インフルワクチン接種時のミス	理由は多忙、看護師の13%が経験。看護師対象に日本ベクトン・ディッキンソンの調査。	産経	23面	7.9

公害

イタイイタイ病 企業動く	カドミウム説浮上 40年かけ信頼構築	朝日	7面	7.22
水俣病認定訴訟 国など控訴方針発表	「医学的に正当」	朝日	夕12面	7.20
「汚染濃度4.3万倍無害化」実は2.7倍	築地市場移転予定地 都がデータ明かさず	朝日	13面	7.20
油処理剤の負荷 未知数	メキシコ湾流出事故で大量散布 微生物や日光で分解 「魚の体内に油」懸念	朝日	夕11面	7.15
女性苦しめた新潟水俣病	極秘に水質調査 受胎調節の悲劇	朝日	夕11面	7.15
新潟水俣病も和解勧告 熊本と同条件で救済へ	原告は阿賀野患者会に所属。改めて国が阿賀野川流域で住民の健康調査をすることや、首相と昭和電工の社長の謝罪を求めている。原告側は10月中旬に和解条件の基本合意を目指す。	山日	27面	7.9
工場の煙 希望のはずが	四日市ぜんそく 健康との因果関係 調査進め証明 公害規制、70年から大幅強化	朝日	11面	7.1

介護

療養の場や住まいの快適性を追及	殺風景なイメージの病院や介護施設から脱却。デザイン性豊かな医療機器や福祉用具も登場。	読売	11面	7.13
-----------------	--	----	-----	------

地域医療

熱中症での死者75人	17日以降の23区内 大半が「孤独死」	朝日	38面	7.29
「1日1万5000歩」子どもは歩こう	「体力低下に危機感」 都教委、歩数計配る	朝日	夕10面	7.22
熱中症で搬送 東京都内	3連休で98人	朝日	夕12面	7.20
子どもの臓器移植 山梨県内の親に聞く	子どもの臓器提供に同意する親は26%。移植を受ける立場であれば9割以上が提供を望む。	山日	12面	7.16
子どもの脳死 どう伝えたら 山梨県内医療現場に戸惑い	臓器提供の対象病院になっている県立中央病院は、改正臓器移植法の施行で準備を進めるが、虐待の見極めなど難題もある。これまで脳死による臓器提供は県内はゼロだった。	山日	27面	7.16
医療充実 外房地域の市町村長が県に要望	「地域医療再生基金の地元負担がないように」「九十九里地域医療センター開設に伴い、千葉大の医師が地域病院から引き上げないように」との要望に対し、「千葉大は地域臨床教育センターを開設、その中で可能な限り確保する。医師の引き上げ防止に努力する。」とした。	千日	16面	7.14
安房地域医療センターの増床 地元安房郡市事務組合が支援	増床計画は、1階に救急、2階に透析室、医局、医師当直室、3階に外来リハビリの予定。年中24時間救急科の常勤医が常勤できる体制。2次救急医療の拡充を図る。	千日	16面	7.14
子の補聴器購入に補助を 「軽・中等度難聴児も対象に」	基準に満たず身体障害者手帳のない軽・中等度難聴児の子どもも補聴器は必要。独自の補助制度のある県もあり、山梨県小児難聴ネットワークでは補助制度の設置を求めている。	山日	11面	7.11
土地購入費負担せず 九十九里町方針	「地域医療センター」(東金市と九十九里町の計画で割り当て分は9億3400万円)	朝日	33面	7.11
山梨の医療現場から	国民に手厚い改革を 医療従事者と患者の双方が納得する医療制度改革が求められている	毎日	25面	7.9
松本大と連携協定 南箕輪村 健康や地域活性化推進	健康分野で松本大学と南箕輪村は「連携・協力に関する協定書」を締結した。健康づくりを「栄養」「休養」の面から地域活性化や観光分野につなげる。「森林セラピーロード」を活用し、「栄養(食)」や「休養(森林浴、温泉)」の要素を付加価値とする。学生にとって実践の場にもなる。	長日	15面	7.9
鎌倉の医療法人 再生機構支援へ	(医療法人 養生院)	朝日	12面	7.8
手術でタオルを体内に置き忘れ	国保旭中央病院で25年前の手術。病院はミスを認め謝罪したが示談に到らず賠償提訴した。	読売	35面	7.6
松戸市立病院の移転・立て替え問題	新市長の本郷谷氏は、移転計画は白紙、主要病棟の耐震性を考慮し現地で建て替える考え。	読売	35面	7.6
帰国前に研修報告 (松本)	ベラルーシの医師 (長野)県立こども病院で半年学ぶ	信毎	36面	7.4

医学・医療・科学情報

サルの子宮 自家移植に成功	東京大等の研究チーム、日本受精着床学会で発表。将来子宮を失った女性に出産の道を開く。	読売	夕12面	7.29
繰り返すぎっくり腰	(MRIなどの精密検査、運動の仕方もチェック)	朝日	31面	7.29
検索寡占進む@日本	ヤフーとグーグル提携発表 ヤフー「一番よい選択」 グーグルに一本化も 提携 公取委「問題ない」 選択肢が狭まる恐れ	朝日	2面	7.28
江戸の食文化探求	日本の食文化は「何を食べたか」に偏る。「何を食べなかったか」の研究がおろそかだ。	読売	17面	7.28

平均寿命 最高更新	女性86.44歳 男性79.59歳	朝日	34面	7.27
高山病	命にかかわる兆候に注意を	朝日	夕3面	7.26
猛暑 まだまだ続く	熱中症の被害は室内が半数以上、埼玉県で多い。内陸部は海沿いに比べ気温が下がらない。	読売	3面	7.26
精神医療改革へ会議	(「こころの健康政策構想実現会議」が発足)	朝日	2面	7.26
熱帯夜を心地よく	汗吸う涼しい寝具を 湿度50～60%がお勧め	朝日	33面	7.25
熱中症を避けるには	(環境省「熱中症環境保健マニュアル http://www.env.go.jp/chemi/heat_stroke/manual.html)	朝日	夕10面	7.24
ハンチントン病に遺伝子治療	(ネイチャー・バイオテクノロジーに掲載)	朝日	30面	7.23
熱中症、何に気をつければいいの?	立ちくらみが危険信号。日差し避け、水分補給を	朝日	2面	7.23
熱中症死者 30年で6倍	69～78年 658人 99年～08年 3954人 高齢化・多湿が原因	朝日	夕1面	7.22
熱中症対策に室内でも水分	(日本救急医学会の調査)	朝日	夕1面	7.21
インプラント治療 困ったときの対処法	インプラントで誤って下あごの骨の神経を傷つける場合もある。手術後にしびれや麻痺、激痛があれば、早急にインプラント科、口腔外科のある大学病院などを受診すること。	読売	16面	7.21
がんと性生活～男性編	前立腺・大腸手術で障害 機能低下の恐れ 相談を 薬・注射で回復 治療費が課題	朝日	25面	7.20
たばこの煙 体が悲鳴	(職場の)半数対策なし、抗議したら解雇も	朝日	20面	7.20
心療内科「心身症」を治療する	精神科とは違い、普通の治療では治りにくい内科の病気を診る。認定専門医は107人、養成する大学も少ない。診療報酬も非常に低く、診療内科医が活躍できる環境整備が必要。	読売	12面	7.20
「北朝鮮の医療 崩壊」	結核激増 麻酔なしで手術 国際人権団体報告書	信毎	5面	7.16
「電子書籍、ハードカバー抜く」	米アマゾン発表 1ヵ月売り上げ1.8倍 販売冊数、ペーパーバック扱い未公表	朝日	夕10面	7.20
南米大寒波	アルゼンチン 低体温症など46人死亡 ポリビア 高地で冷夏14度記録	朝日	夕10面	7.20
日本アレルギー学会 ぜんそく死ゼロへ指針改定	全国のぜんそく患者は推定500万人、死亡者は2300人台(2008年)。喘息予防・管理ガイドライン(指針)は、薬を用いぜんそくをコントロールし良好な状態に保つことが目的。	千日	5面	7.20
「質の高いがん治療を」 千葉市の医療NP を立ち上げる	「千葉がん臨床支援機構(CCCSO)」千葉県がん診療連携協議会、医師会などの関係者で組織。がん拠点病院のオーバーワークが危惧され、側面支援、治療法の均てん化等をサポートする構想。	千日	19面	7.20
夏山の低体温症、防ぐには	(北海道大雪山系)トムラウシ山事故から1年 「忍び寄るように」悪化 風よけ食べ物を口に	朝日	31面	7.16
がんの中に血管作製	(キャンサーリサーチ電子版に掲載)	朝日	27面	7.16
筋ジス 原因の一つ解明	(ジャーナル・オブ・クリニカル・インベスティゲーション電子版に掲載)	朝日	27面	7.16
動植物の有効成分抽出方法で特許	コラーゲンやポリフェノール 有害駆除のシカ活用にも 朝日村出身の研究者と上伊那農協	信毎	34面	7.16
DNA誤登録 科捜研ミスか	神奈川県警	朝日	39面	7.16
骨粗しょう症発見に成果	歯科治療のX線写真を利用 愛知で導入医療機関との連携進む 松本歯科大・田口教授が開発	信毎	15面	7.16

骨粗しょう症治療の手掛かり 骨の形成促進するタンパク質を特定	埼玉医大ゲノム医学研究センター岡崎教授(分子遺伝学)の研究チームは「Id 4」タンパク質が重要な役割を果たすことを突き止めた。米科学雑誌プロス・ジェネティクス電子版に発表。	山日	9面	7.16
生活保護水準が最低賃金を上回る	「逆転現象」が起きている地域は12都道府県。差額が最も大きかったのは神奈川県47円。	読売	37面	7.15
「ベージェット病」発症遺伝子解明	横浜市立大、北大等の研究チーム。科学誌「ネイチャー・ジェネティクス」電子版に発表。	読売	37面	7.15
心療内科 体とこころの両面を診る	ストレスが影響した体の病気の発症や悪化を「心身症」と呼ぶ。「絶食療法」で腹痛が改善。	読売	19面	7.14
遺伝子組み換え作物 EU統一断念	加盟国に許認可権を委譲する。現在承認は2件だが広がる可能性がある。日本は61件承認。	読売	6面	7.14
広がる「人間の安全保障」	国よりもまず人を守る理念	朝日	8面	7.14
高脂血症の人 脳卒中死亡率低い?	東海大(医療統計学)調査。日本脂質栄養学会は「LDLコレステロール値が高いほうが長寿に結びつく」との内容の指針を発表する方針。日本動脈硬化学会理事は批判している。	読売	夕16面	7.13
医療分野が抱える課題	医師不足は医学部の定員増だけではなく応急措置が必要。医師の実態調査で偏在解消策を。	読売	9面	7.13
協会けんぽ 赤字4800億円	09年度 (全国健康保険協会が公表)	朝日	5面	7.13
生薬の「くすり湯」原点	バスクリン(ツムラライフサイエンス)1930年発売 成分、香り変更「温泉」前面に	毎日	15面	7.11
医療技術向上へ確かな一歩	明美ちゃん基金(海外の心臓病の子どもたちへの支援)を受けたベトナムでの医療技術支援。	産経	23面	7.10
電子書籍 全端末向けに販売	大日本印刷 30万点に拡大	毎日	26面	7.9
やけど 高齢者ほど危険	重症化しやすく後遺症も 「火使わない」など予防第一	毎日	17面	7.9
月経前イライラを軽く	PMS(月経前症候群)20~40代女性の9割「ある」 体のリズム整えて 時にストレス発散別の病気の可能性も	朝日	33面	7.8
日本の科学研究論文 引用割合低下	日本のお家芸である物理や薬理学などの論文数は世界の1割以上、宇宙科学や免疫学、物理学分野は引用回数で善戦。米科学技術情報提供会社「トムソン・ロイター」が発表。	読売	31面	7.7
慢性硬膜下血腫による認知症	転倒などで頭を打った後、徐々に症状が出るが、一般的な認知症に比べ進行が早い。	読売	18面	7.7
突発性正常圧水頭症による認知症	余分な髄液排出で症状が改善。歩行障害に物忘れが重なる場合は脳外科や神経内科受診を。	読売	16面	7.6
進めぬ年金制度の抜本改革	政府の新年金制度基本原則は「消費税」にも「7万円」にも言及せずあいまいな内容にとどまる。	読売	13面	7.6
唾液で病気が分かるの?	がんやエイズが分かる。精度が課題の病もある	朝日	2面	7.6
最新科学 古代人像見えた	DNA解析・CT 精度向上 440万年前の頭復元 0.5グラムでも年代測定	朝日	22面	7.6
寺は生きる人の救済も	無料シャワー・DV被害者支援 阪神大震災で非力思い知らされた	朝日	夕7面	7.5
悪玉コレステロールを下げるには	飽和脂肪酸 とり過ぎ控えて	朝日	夕7面	7.5
親知らず	あごの痛みや虫歯の原因に	朝日	夕7面	7.5
「産学連携」危うい側面	(製薬会社から利益を受けた研究者の意見への影響を調べた論文を、英国医学雑誌が3月掲載)	朝日	夕3面	7.5
雑草から組み換え遺伝子 除草剤耐性 生態系に拡散の恐れ	「遺伝子組み換え食品を考える中部の会」の調査。輸入した遺伝子組み換え菜種が雑草のイヌガシラと交雑した可能性が高い。カルタヘナ議定書第5回締約国会議に向け規制強化の声も。	山日	3面	7.3
肺血栓塞栓症 予防を	手術後突然死に至る可能性 運動やマッサージ、抗凝固薬併用も	信毎	15面	7.2

血管の石灰化、骨粗しょう症	二つの老化現象は同じたんぱく質(RANKL)が引き金となる。大阪大と東京大のチームが解明。米心臓病学会の専門誌電子版に発表。	山日	3面	7.2
がんの病理診断 高速ネットで	岩手医大、宇宙航空研究開発機構が共同実験。琉球大医学部と国際医療福祉大三田病院が参加。	読売	37面	7.1
社会保障 高齢者医療の全体像	医療は量だけでなく質的問題も問われる。診療科の垣根を越え「総合医」の養成等が課題。	読売	15面	7.1
社会保障 介護で雇用創出できるか	医療は成長産業となるかもしれないが、介護は難しい。医療や介護は市場任せにできない分野。	読売	15面	7.1
受け皿なき高齢患者	年々減る療養病床 医療費負担 模索続く	朝日	6面	7.1
左右の視力が大きく違う	(「不同視」と呼ばれる症状。眼科で精密検査を)	朝日	34面	7.1

本の紹介

「食物・栄養・運動とがん予防 - 国際的視点から -	(2007年世界がん研究基金と米国がん研究機関の報告書) がん予防 世界の論文を評価	朝日	夕3面	7.26
私がしたことは殺人ですか？	須田節子著 (青志社)：終末期医療めぐる心の叫び	山日	9面	7.11
発達障害は治りますか？	神田橋條治ほか(花風社)：「日本のフロイト」臨床知の宝庫	朝日	13面	7.11
うつ病治療 現場の工夫より	神田橋條治ほか(メディカルレビュー社)	朝日	13面	7.11
光るクラゲ	ヴィンセント・ピエリボン/デヴィド・F・グルーバー著 (青土社)：科学を推進する人間ドラマ	読売	25面	7.11

注記 1．信毎：信濃毎日新聞 千日：千葉日報 長日：長野日報 山日：山梨日日 夕：夕刊(その他の無記載は朝刊ないし日刊)
2．著作権上、見出しのみ掲載できる場合は、印の後に記載しております。 3．掲載見出しに補足した場合、補足部分を()で記載しております。
4．読売新聞、産経新聞の見出しは著作権等があり掲載記事の見出しとは異なるように配慮しております。 5．日本経済新聞、秋田さきがけ、河北新報の記事は著作権等があり掲載していません。 6．同一記事が複数の新聞で報道されている場合、可能な限り、最も詳しい内容ないしは早い日付で報道されたものを掲載するようにしております。また、著作権を問題としない商業紙を優先し掲載しております。